

ライフストーリーワーク 困難な事例のケース検討①

～親が収監され子どもを施設に預かったが親から子どもに秘密にしてほしいと依頼され数年経過している事例～



2026年8月19日(水)開催

PM 13:30～16:30 オンライン講座 ※13:15～開場

講師:才村 眞理(元帝塚山大学教授):大阪府児童相談所(児童福祉司)、知的障害児入所施設、帝塚山大学心理福祉学部(教授)の勤務経験。ライフストーリーワーク相談室代表。ドナーリンク・ジャパン社員。社会福祉士。

◆定員: 30名 ※定員達し次第応募締切
(定員に満たない場合は開催を見合わせる可能性があります)

◆参加費: 12,000円

◆形式: オンライン(zoom)
※一人一台のパソコンの準備が必要です。

◆QRコード、もしくは以下 URLからお申し込みください。

<https://bit.ly/LswKN819>



<対象>

社会的養護に関わる人、または関わる予定の人。(例、乳児院・児童養護施設等、社会的養護施設の職員、児童相談所職員、里親支援を行う者など)

【お問い合わせ】メールにてお問い合わせください。
Mail: info@muyuju.org



ライフストーリーワーク 困難な事例のケース検討について

ライフストーリーワークの進め方に定型はありません。ライフストーリーワークを学んだ後は、できるだけ経験を積んで、事例に応じて、どのようにしたら、子どものニーズ・最善の利益に合致したセッションを展開できるのか、事例の検討を関係者で重ね、実践可能なやり方を模索していくことが必要です。

そこで、今回は、ライフストーリーワークで想定される困難な事例について、事例検討する機会を設けました。

今回の事例：親が収監され子どもを施設に預かったが、親から子どもに秘密にしてほしいと依頼され、数年経過している事例です。

架空の事例とは言え、皆さんが日ごろ抱えておられる困難な事例の一つではありませんか？ぜひこの機会にセッション実践への道と一緒に考えましょう。

当日のスケジュール

13:15	受付開始
13:30	講義：困難事例へのノウハウ
13:45	事例の説明及びワークの説明
14:00	事例検討とグループワークと発表
16:15	質疑

16:30 終了

※終了時間は多少前後する場合がございます、予めご了承ください。

【お問い合わせ】メールにてお問い合わせください。

Mail: info@muyuju.org

一般社団法人 無憂樹